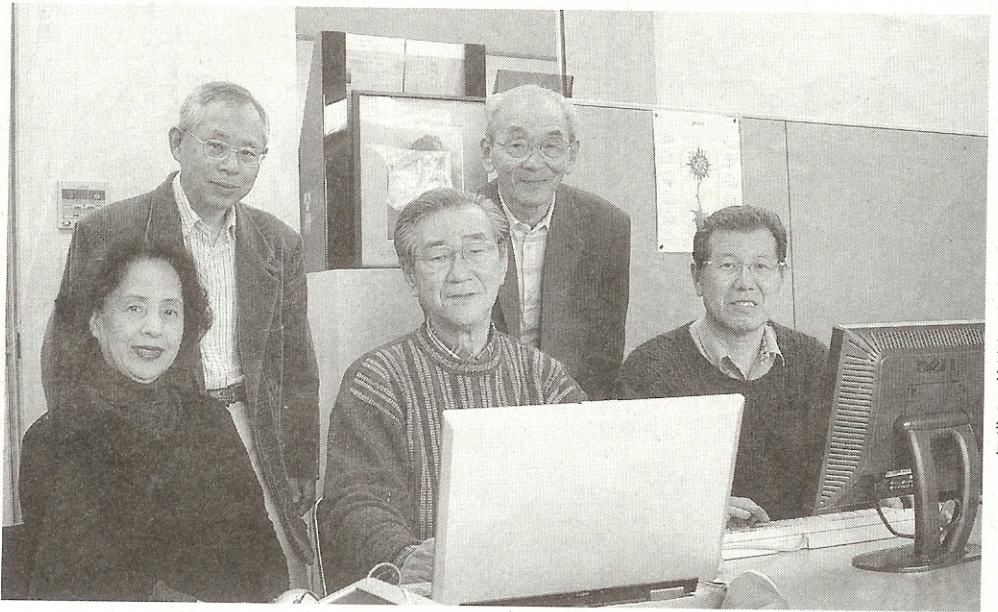


ライフ

パソコンの悩みを解決する会員



# IT技術で社会に恩返し

## アクティブSITA (町田市)

「インターネットの検索のやり方が分からない」「デジタル写真を加工するには」「ウイルスの予防対策はどうすればいいのか」――毎週火曜日の午後、東急田園都市線つくし野駅前で、「ここが知りたい!パソコン相談室」を開き、市民の悩みに応じている。

趣味のパソコンを生かして定年後にシニアITアドバイザー(SITA)の資格を取得した元損保社員の菊池剛志代表(67)が、同じ資格を持つ市内の5人と発足。2004年6月に事業型NPO法人へと発展させた。現在、会員は八王子や多摩、都心部などにも広がり33人。電気、通信などIT関連企業の技

術畑出身者が、SITA資格を役立てて、活動している。「パソコン操作に不慣れた人の中には、助言があればと思いつきながら、それだけの人も多い。デジタル」の講座も依頼され

た。自宅に訪問してLAN導入の手助けをしたり、パソコン初心者には家電店と一緒に買ってパソコン購入の助言もしたりする。会員も毎月1回の勉強会で、新しいIT技術へのチャレンジを怠らない。シニアの専門家集団として、町田商工会議所からも「電子認証」「電子入札」の講座も依頼され

## リ・スタート

趣味のパソコンを生かして定年後にシニアITアドバイザー(SITA)の資格を取得した元損保社員の菊池剛志代表(67)が、同じ資格を持つ市内の5人と発足。2004年6月に事業型NPO法人へと発展させた。現在、会員は八王子や多摩、都心部などにも広がり33人。電気、通信などIT関連企業の技

タル弱者と言われるシニア層や主婦層などを引っ張りあげたいと菊池代表。ワードやエクセルの使い方が多かった相談内容は、今はホームページ作成、デジタル画像などの「趣味の分野」が増えているという。

菊池代表は、「会社勤めのころは、自治会活動にもあまり参加していなかったが、趣味だったパソコンを生かした生涯現役と地域社会への恩返し活動の目標。事業の拡大は難しいが、地域の住民が安心してパソコンを使いこなせるようにしたい」と、「シニアライフを優雅に楽しく」をモットーに活動を続ける。